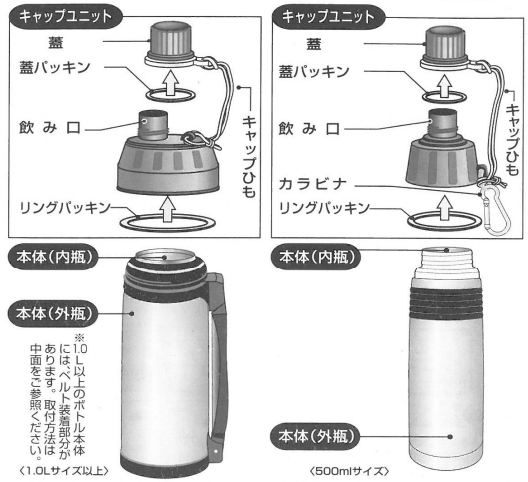
ステンレス製携帯用魔法瓶

LIFELEX 取扱説明書 保冷専用

この度は当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は大切に保管し、ご使用上わからない点や不具合が生じた場合はお確かめください。

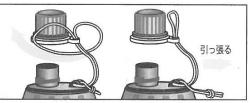
各部のなまえ



〈キャップひもの着脱方法〉

①キャップユニットを本体からはずし、蓋をはずす。
②ひもを図のように蓋からはずす
③ひもの結び目を引っ張ってはずす。

※取付は取りはずしの逆の手順で行ってください。



お手入れ方法

臭いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

部材名	お手入れ方法
本体(外瓶)	汚れがひどい場合は、お湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布などに含ませてから固くしぼり、汚れを拭き取ってください。 そのあと、乾いた布で十分に拭いてください。
本体(内瓶)	ご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗って、十分に乾燥させてください。 本体(内瓶)には、水質や不純物などにより、サビのような赤い斑点ができることがあります。このような場合には、10%ほどのお酢を加えたぬるま湯を入れ約30分後に柔らかいブラシで内面をきれいに洗い、十分にゆすいでください。
キャップユニット	蓋、キャップユニットからキャップひもをはずし汚れたところを流水でよく洗ってください。 ※はずし方は表紙をごらんください。 そのあと、乾いた布で拭いてください。
キャップひも	湯をやわらかい布に含ませかたくしぼり拭いてください。
パッキン	柔らかいスポンジできれいに洗って十分に乾燥させてください。

食器洗浄機 食器乾燥機	プラスチック部品が変形する場合がありますので、使用しないでください。

●長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗い汚れを落とし、完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

こんな時は・・・

分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	お確かめください	対処方法
キャップユニットから漏れた	キャップユニットはしっかりしめていますか	キャップユニットはしっかりしめてご使用ください。
	蓋は正しくしまっていますか	飲み終わったら、蓋を確実にしめてください。
	飲料物を入れすぎていませんか	飲料物は規定の量までにしてください。
	パッキンが外れていませんか	両方のパッキンの取りつけに浮きがないことを確認してください。
	キャップユニットやパッキンは消耗していませんか。	別売のキャップユニットをお買い求めください。
本体(内瓶)が変色した	汚れではないですか	酸素系漂白剤をお使いください。
	斑点状の赤サビではないですか	水に含まれる鉄分などが付着したものです。ぬるま湯に約10%のお酢を入れて、約30分後に良く洗ってください。
	ザラザラしたものではないですか	水に含まれるカルシウム などが付着したものです。市販のクエン酸をぬるま湯に10%程度入れ、キャップユニットを外した状態で約3時間後に良く洗ってください。
異臭がする	本体(内瓶)やキャップユニットに汚れが付着していませんか	ご使用後はきれいに洗い、完全に乾燥させてください。異臭がとれない場合は酸素系漂白剤をお使いください。
保冷が効かない	十分に冷たい飲料物をいれていますか。	冷たい飲料物を入れてください。また、あらかじめ本体(内瓶)を予冷しておくと、より効果的です。
	飲料物の量が少なくないですか	氷をたくさん入れたり、飲料物の量を多くすると、より効果的です。

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、お買い求め頂いた販売店にご相談ください。

仕様

部品名		材料の種類
本体	内瓶	ステンレス鋼
	外瓶	ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)
キャップユニット	蓋・飲み口	ポリプロピレン(耐熱温度120℃・耐冷温度−20℃)
	蓋パッキン・リングパッキン	シリコーンゴム(耐熱温度220℃・耐冷温度−20℃)

■保冷効力:10度以下(6時間)
※保冷効力とは、室温20℃±2℃において、製品に水をキャップユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で水が4℃±1℃の時から6時間、放置した場合における、その温度。

お問い合わせについて

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じた場合や、製品に関するお問い合わせ・ご質問などがございましたら、お買い求め頂いた販売店までお問い合わせください。

※パッキンは消耗品となります。定期的に点検いただき、もし、漏れなどがある場合は、交換用パッキン(別売)をお買い求めの上、交換願います。(交換用部品保証期間は、製造終了後約3年)別売交換用パッキンはお買い求め頂いた販売店にご相談願います。

■商品には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合には、お買い求め頂いた販売店までお問い合わせください。

輸入販売元
コーナン商事株式会社
大阪府堺市西区鳳東町6丁637番地1

MADE IN CHINA

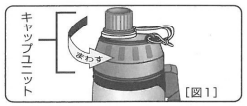
※実際の商品と形状、デザインが異なる場合があります。

ご使用方法

ご使用前にキャップユニット、本体内側を十分に洗ってください。

1 キャップユニットをはずす

キャップユニットを矢印の方向に回転させ本体からはずしてください。[図1]

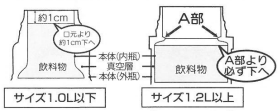


[図1]

2 飲料物を入れる

飲料物の量は、図の位置までにしてください。入れすぎると、キャップユニットを閉めた時に中身があふれる場合があります。[図2]

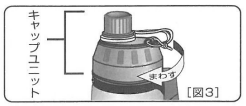
本体に少量の冷水を入れ、1分程度置きますと保冷に、より効果的です。



[図2:断面図]

3 キャップユニットをしめる

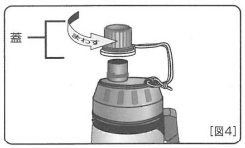
蓋を閉め、キャップユニットを矢印の方向に回してしめてください。締め方が不十分ですと漏れる事があります。[図3]



[図3]

4 飲料物を飲む

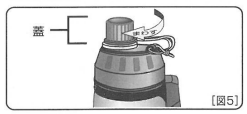
蓋をまわしてはずしてください。せんがゆるまないように注意してください。[図4]



[図4]

5 飲み終わったら

本体を立てた状態で、蓋を確実にしめてください。[図5]
蓋を締めるときは、パッキンが正しく取り付けられているかを確認してください。



[図5]

※500mlサイズも同様です。

パッキンの取りつけ方

取りつけた後はキャップユニットが正常に動くことを確認してください。

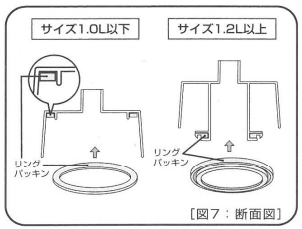
蓋パッキン

図の位置の全周にわたって、はめ込んでください。
取りつけたら指で押し浮き上がっている部分がないことを確認してください。[図6]

[図6:断面図]

リングパッキン

図の位置の全周にわたって、はめ込んでください。
取りつけたら指で押し浮き上がっている部分がないことを確認してください。[図7]



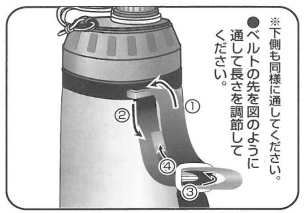
[図7:断面図]

ベルトの取り付け方

【フック式ベルトの場合】

ボトルのフックにベルトを引っ掛けます。

【通し穴の場合】



※下側も同様に通してください。
●ベルトの先を図のように通して長さを調節してください。

※取り付けた後はベルトを軽く引っ張り、確実にセットされているか確認してください。
⚠危険ですからベルトを持って振り回したりしないでください。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

●表示マークの意味について
誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが想定される」内容です。

●絵表示の意味について
お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

禁止	この絵表示の欄はしてはいけない「禁止」内容です。
必ずおこなう	この表示の欄は必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらをしないように十分注意してください。
※けがの原因になります。
禁止

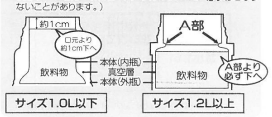
熱いものは入れないでください。
※やけどなどの原因になります。
禁止

飲料物の保冷以外の用途に使用しないでください。
※サビや漏れの原因となります。
禁止

ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
※変形や変色、やけど、漏れの原因となります。

禁止

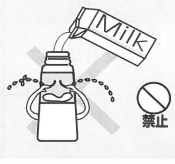
飲料物は、入れすぎないでください。
※入れすぎますと、キャップユニットを閉じた際に飲料物があふれる場合があります。(図の位置で使用される場合、飲料物の量は表示容量より少ないことがあります。)
必ずおこなう



キャップユニットはパッキンが正しく取りつけてあることを確認してから閉めてください。
※漏れの原因となります
必ずおこなう

⚠注意

次のものは絶対に入れないでください。
●ドライアイス、炭酸飲料
(炭酸ガスの圧力で飲料物があふれる場合があります。)
●牛乳、乳飲料、果汁など
(成分が腐敗する恐れがあります。)
●アルコール類、お茶の葉、果肉など
(つまる、漏れるなど故障の原因になります。)
●塩分を含んだものはサビの原因になりますので絶対に入れないでください。(みそ汁、スープなど)



禁止

キャップひもを持って振り回したり、強くひっぱったりしないでください。
禁止

改造、分解、修理は絶対にしないでください。
※故障、事故の原因になります。
禁止

バッグなどに入れる場合は、必ず漏れがないことを確認した上で本体を縦置きにしてください。また、携帯電話・カメラなどの精密機器や、貴重品等は、絶対にボトルと一緒に入れないでください。
禁止

ご注意とお願い

漏れを防ぐために、本品は横にせず必ず縦置きにしてください。

運転しながらのご使用は危険ですのでしないでください。

本体内に水滴を残したまま保管しないでください。サビなどの原因になります。

大きな氷は無理に押し込まず小さくしてから入れてください。

本体、キャップユニットは煮沸しないでください。
※変形し、漏れなどの原因になります。

製品の構造上、湿度が高いときに、蓋に水滴がつく場合がありますので、ご注意ください。

車中でご使用の際は本品が転倒しないよう十分に注意してください。

落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
※変形し破損して、漏れや保冷不良などの原因になります。

本体の丸洗いはしないでください。
※水が浸入しサビが発生したり他のものを汚したりします。

塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属たわし、みがき粉、クレンザーは使用しないでください。
※傷やサビなどの原因になります。

お茶を長期保存すると、色や風味が変わります。これは、お茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。
※お早めにお召し上がりください。